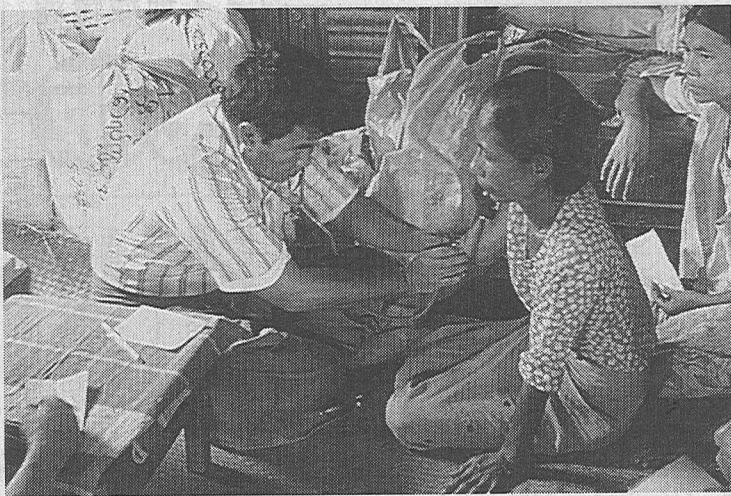


「マラリア、精神疾患増懸念」

ミャンマーのサイクロン（西五が二十三日、帰国会
ン被害で、最大都市ヤン見し、被災地の状況を報
告した。（5面関連）

国際医療ボランティア AMDAは現地当局と
AMDA（本部・岡山市の協議を経て、ヤンゴン
の鈴木俊介理事の南約七十キロにあるクン



クンジャンゴン市で巡回診療に当たるAMD
Aの現地スタッフ（左）

帰国会見で状況報告

ヤンゴンで活動
AMDA・鈴木理事

ヤンゴン市での巡回診
療を十一日から開始。医
師や看護師ら十八人が二
班に分かれ、二十一日ま
でに千四百四十八人に医
療行為を行った。

鈴木理事は九日にヤン
ゴン入り。同国政府が被
災地への外国人の立ち入
りを禁じていたことか
ら、在ヤンゴンのAMD
A職員二人とともに電話
などで巡回診療チームに
指示を出していた。六月
十六日に再入国する予
定。

鈴木理事は「被災地で
はマラリアなど感染症の
発生や精神疾患にかかる
患者の増加が懸念されて
いる。現地当局と一緒に
なって支援を継続した
い」と話した。

（河内慎太郎）

次々広がる善意の輪

ミャンマー人留学生ら 協力を呼び掛け 岡山大で募金活動



募金を呼び掛ける留学生ら

ミャンマーのサイク
ロン被災者を支援しよ
うと、岡山大のミャン
マー人留学生らが二十
三日、岡山市津島中の
同大津島キャンパスで
募金活動を行った。

ミャンマー留学生会
と、同大の学生らでつ
くる留学生支援ボラン
ティア・WAWAのメ
ンバー約三十人が参
加。昼休み中に二カ所

で協力を呼び掛ける
と、学生たちが次々と
募金箱に寄付してい
た。

大学院博士課程のゾ
ー・ソー・ミンさん（三〇）
は「募金してくれた学
生に、祖国に代わって
お礼を言いたい」と感
謝していた。

WAWAなどは六月
六日までキャンパス内
の生協に募金箱を置
き、寄付を呼び掛ける。
募金は、ミャンマー
で医療支援活動に取り

組むNPO法人「日本
・ミャンマー医療人育
成支援協会」（事務局
・岡山市）理事長を務
める同大の岡田茂名誉

中国留学生も
岡山で街頭募金
きょうこあす

する街頭募金を行う。
県内の大学や専門学
校に通う中国人と日本
人の学生計約五十人が
参加。両日も午前十
時～午後五時半、
JR岡山駅前（岡山市
駅元町）と同駅西口
（同）、岡山中郵便
局（同市中山下）前で

教授に渡し、被災者へ
直接、医薬品を届けて
もらう。（民直弘）
救援金69万円
三永が寄託
山陽新聞
社会事業団へ

ミャンマー・サイク
ロンと中国・四川大地
震の被災者を支援しよ
うと、パチンコ店経営
の三永（倉敷市平田）
は二十三日、救援金計
約六十九万円を山陽新
聞社会事業団に寄託し
た。写真。
岡山市柳町、山陽新
聞社で、中原桂太郎店
長が「救済に役立てて」
と阪本文雄専務理事に
手渡した。
救援金は県内外十店
舗の従業員からの募金
と、同社の社会貢献福



（伊丹友香）

募金を呼び掛ける。

集まったお金は中国
の駐大阪総領事館を通
じ、現地での小中学校
の再建費などに充てら
れる。同会の王雪松会
長は「一人でも多くの
方に協力してもらいた
い」と話している。